



学校だより No.7

加治木の風

「読書・あいさつ・あせ」

始良市立加治木小学校

令和2年10月9日

サルビアの植栽から

朝夕も涼しくなり、春から夏を彩った花園の花々もその役目を終えようとしています。ところで、サルビアと聞くと花の情熱的な赤い色から夏の花とイメージされる方が多いのではないのでしょうか。本校でも夏の花というイメージから、春から夏の花園の主役の1つとして植栽しました。

ところが、定植した苗がなぜか枯れてしまい、どうしても大きく育ちません。何度植え替えても枯れてしまうのです。水や肥料を工夫しても枯れてしまいます。……。

調べてみると、サルビアは高温に弱く、半日陰を好むことが分かりました。(肥料や水も多く必要とします。)同じ花園で高温に強く、日光を好み、水や肥料を多く与えなくても色とりどりの花を咲かせるポーチュラカとは大違いです。

そこでサルビアの苗をプランターに植え替え、半日陰の場所に置くと、葉の緑も生き生きとし、今鮮やかな赤い花を咲かせています。



鮮やかに咲くサルビアの花

このことは学校教育及び家庭教育の有り様を考えさせてくれます。兄弟・姉妹であっても性格や興味・関心に違いがあり、1人1人が欲しているものには違いがあります。その子が欲しているものを見極めながら、適切なタイミングで適切な量を与えていくことが必要であることをサルビアが教えてくれます。与えすぎることが成長を妨げることに繋がることがあります。様々な障害から守りすぎることが成長を妨げることに繋がることがあります。多くのことを考えさせられます。



色とりどりのポーチュラカの花

あいさつのシャワー

コロナ禍で実施を控えていたPTAによる「オッハー運動」(0と8の付く日に実施)も2学期から活動が再開されました。民生委員の方々も0の付く日にいっしょに参加してくださっています。

多くの方から一斉にあいさつのシャワーを浴び、元気にあいさつをする子、恥ずかしそうにあいさつをする子、ニコッと笑顔であいさつをする子……子供たちの表情は様々です。

このあいさつのシャワーは効果絶大です。子供たちの心にまるでシャワーのようにあいさつの大切さを染み込ませています。PTA、地域が一体となってあいさつの雰囲気づくりをしてくださっていることに感謝いたします。

